

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

9月10日

休業期間中にやってきた「できるかな」ですが、月曜日から授業が再開されるので今日が最終回。音読、計算、用語、アルファベット、決まりを見つけるなどにチャレンジしてきました。今日は、「早口言葉」に挑戦です。演劇をする人や声優、アナウンサーを目指している人が挑戦することもあると聞いています。わざと言にくい言葉を並べてあるようです。マスクをつけているのでさらにやりにくいかもしれませんがチャレンジしてみましょう。

歌舞伎（かぶき）の中で演じられる「外郎売りの科白」の一部を紹介（しょうかい）します。「○○○○○○○○」？ですね。「ういろううりのせりふ」と読みます。見慣れた易しい漢字ですが、日本語って難しいですね。今回これから紹介する科白は主にひらがな書き表しておきます。薬売りの薬の紹介の場面です。

「さて、このくすり、だいいちのきみょうには、したのまわることがぜにごまがはだしでにげる。ひょっとしたがまわりだと、やもたてもたまらぬじゃ。そりゃそりゃ、そらそりゃ、まわってきたわ、まわってくるわ。アワヤのど、サタラナしたに、カゲサしおん。ハマのふたつはくちびるのけいじゅう、かいごうさわやかに、あかきたな、はまやらわ。おこそとの、ほもよろを。ひとつへぎへぎに、へぎほし、はじかみ。ぼんまめ、ぼんごめ、ぼんごぼう。つみたで、つみまめ、つみざんしょう。しょしゃざんのしゃそうじょう。こごめのなまがみ、こごめのなまがみ、こんこごめのこなまがみ。しゅすひじゅす、しゅすしゅちん。おやもかへえ、こもかへえ、おやかへいこかへい、こかへいおやかへい。ふるくりのきのふるきりぐち。あまがつぱがばんがつぱか。きさまのきやはんもかわぎやはん、われらがきやはんもかわぎやはん。しっかわばかまのしっぽころびを、みはりはりながにちょとぬうて、ぬうてちょとぶんだせ。かわらなでしこのぜきちく。のらによらいのらによらい、みのらによらいにむのらによらい。ちょとさきのおこぼとけにおけつまずきやるな。ほそみぞにどじよによろり。きょうのなまだら、なら、なままながつお、ちょとしごかんめ。おちやたちよ、ちゃだちよ、ちゃつとたちよ、ちゃだちよ。あおだけちゃせんでおちやちやとたちや。くるわくるわなにがくる、こうやのやまのおこけらこぞう、たぬきひやびき、はしひやくぜん、てんもくひやっぱい、ぼうはっぴやっぱん。ぶぐばぐ、ぶぐばぐ、みぶぐばぐ、あわせてぶぐばぐむぶぐばぐ。きくくり、きくくり、みきくくり、あわせてきくくりむきくくり。むぎごみ、むぎごみ、みむぎごみ、あわせてむぎごみむむぎごみ。」

以上、外郎売りの科白の一部です。

今日は、ちょっと長めになりました。

いかがでしたでしょうか。この文章の前に科白があり、後もまだまだ続きます。昔の言葉遣いやむずかしい言葉もありますが、調べてみるのも、練習してみるのも面白いですね。

チャレンジしてみましょう！

来週から学校再開です。